



2023 School Guide

自分らしく 人とともに 今を生きる力を



Kyoto Prefectural Mukougaoka School for Special Needs Education

京都府立向日が丘支援学校

京都府立向日が丘支援学校は 『全ての子どもが社会貢献する力を身につける学校』 をめざしています。

乙訓地域で唯一の特別支援学校

京都府立向日が丘支援学校は、昭和42年に開校した京都府立の特別支援学校として3番目に歴史のある学校です。本校には、小学部、中学部、高等部が設置され、知的障害、肢体不自由のある児童生徒が、自分らしく幸せな人生を送っていくために必要な資質や能力を身につけるために、日々学習に励んでいます。子どもたちが将来のために学ぶ場所という意味では、小学校・中学校・高等学校等と同じ価値をもっています。

これまで障害があるとされる人は、何かをしてもらう側におかれることが当たり前とされてきました。しかし、私たちは、地域社会との関わりを大切にしながら日々の授業改善に取り組むことで、全ての子どもが様々な形で社会に貢献する可能性をもっていることに気づきました。

私たちは、一人一人の子どもが人とのつながりの中で主体的に社会参加し、自分らしく社会貢献していく姿を、授業をとおして追求していきます。



令和5年度 児童生徒数 5月1日 現在

	長岡京市	向日市	大山崎町	合計
小学部	38	29	6	73
中学部	22	15	7	44
高等部	36	24	10	70
合計	96	68	23	187

主な行事(予定)

4月	10日 入学式・始業式	10月	修学旅行(高等部) 体験学習(小・中・高)
5月	修学旅行(小学部)	11月	2・3日 おこうがおかフェスタ 修学旅行(中学部)
6月	7日 学校説明会 宿泊学習(小学部・中学部)	12月	20日 2学期終業式
7月	14日 1学期終業式	1月	9日 3学期始業式
8月		2月	入学説明会 入学者選考
9月	5日 始業式	3月	8日 卒業証書授与式(高等部) 18日(小学部・中学部) 19日 令和5年度修了式

小学部 ～学びとふれあいの楽しさに出会う～

小学部は、学校教育のスタートとして、学習や生活の基礎的な力を伸ばしていくことを大切にしている学部です。

各教科等を合わせた指導の「遊びの指導」と「生活単元学習」を中心に、「やってみよう」「楽しい」「できた!」という気持ちや学習に対する意欲を育てていきます。

また、コミュニケーションの力をつけるためにも、校内から地域社会へと授業の範囲を広げ、多くの人の関わりが喜びとなるような学習に積極的に取り組んでいます。



中学部 ～人との結びつきや関わりを深め、可能性を広げる～

中学部は、思春期における様々な変化とうまく付き合い、中学生らしさや自分らしさを大切に、大きく成長する学部です。

「わかる」「できる」という手応えから、わかったことやできたことをいろいろな場面で発揮する意欲につなげ、学校教育目標を実現する授業を実施します。

「生活単元学習」「作業学習」を中心に、地域社会と連携・協働した授業を積極的に展開し、地域社会の中で人との結びつきや関わりを深め、生徒達の力や可能性を最大限に発揮していきます。

また、集団の中での役割や責任等、進路を見据えた観点を大切にしながら、「今」を大切に、共生社会の担い手を育てます。



高等部 ～地域とともに生きていく力を培う～

高等部では、卒業後の「自立と社会参加」に向けて小・中学部や小・中学校で培ってきた力を基盤に、希望進路の実現をめざすとともに、地域社会への貢献に必要な力をさらに充実・発展させることを大切にしています。

「生活単元学習」や「総合的な探究の時間」を中心に、地域社会の中での活動や地域社会との交流を大切にした取組を進めます。

また、「作業学習」を中心に「生き生きと働いたり、生活したりする力」「自ら考えて行動する力」を育むことを大切にした学習を行います。



卒業後の進路

	H30	R元	R2	R3	R4	合計
生活介護	4	3	9	6	8	30
就労移行	1	0	1	5	1	8
就労継続A	1	2	2	1	5	11
就労継続B	2	10	6	5	6	29
地域生活支援	1	2	0	0	0	3
自立訓練	1	2	1	1	2	7
企業就職	2	2	1	2	5	12
進学	0	0	0	0	0	0
施設入所	0	1	0	1	1	3
その他(訓練校等)	1	0	3	0	2	6
合計	13	22	23	21	30	109



特別支援教育

特別支援学校のカリキュラムにも、「国語」や「算数」といった教科がありますが、その内容は小学校、中学校、高等学校等の教科とは異なっています。特別支援学校では、小学部・中学部・高等部「特別支援学校学習指導要領」に示された教科や領域等の内容を教科別に指導するほか、各教科等を合わせて指導しています（「日常生活の指導」「遊びの指導」「生活単元学習」「作業学習」）。

また、特別支援学校には障害の軽減や克服をねらいとした指導領域である「自立活動」があり、全ての児童生徒に必要な指導を行なっています。

各学部において編成した教育課程を基に、多様な児童生徒それぞれに「個別の指導計画」を作成し、指導のねらいと評価を具体化し、日々の指導を進めています。



向日が丘相談・支援センター

医療、大学、作業療法士等の専門家による相談支援チームを作っています。相談内容や相談先からの要請に応じ、本校地域支援コーディネーターとともに対応していきます。

1 教育相談

発達や障害に関して等、気になる子どもたちの家庭や園（所）・学校での生活・学習等の教育相談を行います。

2 研修支援

本センター主催研修会の開催の他、園（所）・学校、関係機関等で実施する特別支援教育に関する研修会・学習会等に講師を派遣します。

3 その他

特別支援教育に関する質問、お困りごと等、お気軽に御相談ください。

※担当者が相談内容を聞かせていただきます。まずはお電話ください。

(075-951-8361)

地域社会とともにある学校をめざして

学習指導要領の趣旨である「社会に開かれた教育課程」を踏まえて、地域社会と連携・協働した授業を積極的に行っています。地域社会の人とともに取り組む様々な活動を教育計画に取り入れたことで、児童生徒の自信や喜びに満ちた活動の姿がたくさん見られるようになりました。また、地域社会の方々に本校児童生徒のことを知っていただく貴重な機会ともなっています。

誰もが相互に認め合い、積極的な社会参加を実現する「共生社会」に向けて、これからも地域社会とともにある学校をめざします。



新たな向日が丘へ ～令和5年度から令和9年度への歩み～

令和5年度、本校は開校以来児童生徒を育ててきた校舎を離れ、仮設校舎（済生会京都府病院跡地）に仮移転をしました。新しい場所で地域との連携や学校間の交流もさらに広がり、子ども達の豊かな成長が見られることを心から楽しみにしています。

また、旧校舎は解体され、長岡京市の共生福祉構想と一体となった新しい校舎の建築へと向かいます。開校から60年目の節目を迎える令和9年度には、再び元の場所に戻ってくる予定です。地域とともに子ども達を育む、向日が丘支援学校を今後ともよろしく願います。



学校ホームページ・むこうがおかチャンネルで随時情報発信中！

ぜひご覧ください

〒617-0814 京都府長岡京市今里南平尾8-1
TEL 075-951-8361 FAX 075-951-8362
URL <http://www.kyoto-be.ne.jp/mukougaoka-s/cms/>